



このたびは、ロンクリーンをお買上いただき、ありがとうございました。

ご使用前にこの「ご使用説明書」とこの説明書の末尾についている保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■お読みになった後は必ず大切に保管してください。

## ご使用説明書

〈簡易水洗トイレ〉

ロンクリーンデラックス

—品番—

D X R - 7 0 0

保証書付

### もくじ

品番・型式記号説明	.....	P. 2
安全上のご注意	.....	P. 2
ご使用にあたって	.....	P. 5
防寒対策について	.....	P. 6
こんなときは	.....	P. 7
保証書	.....	裏表紙

説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。  
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。  
転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

# 品番・型式記号説明

## ■ ロンクリーン

- DXR-700 …… 洋式型本体（陶器製）・エロンゲート・密結型タンク（プラスチック製）

- P …… 手洗なし
- H …… 暖房便座
- F …… 凍結防止ヒーター付
- N …… 洗浄ノズル付
- N2 …… 水抜付洗浄ノズル付
- MA・MB …… マルチシャワー付  
（温水洗浄便座付）

## 安全上のご注意 注意 ご使用前に必ずお読みください！

### 警告

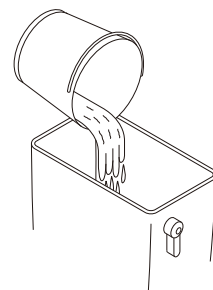
#### 暖房便座付（品番H）・凍結防止ヒーター付（品番F）をご使用の方へのご注意

- 電源プラグに付着したほこりは取り除いてください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 電源プラグはガタツキのないように根元まで差し込んでください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 電源コードには重いものを乗せたり、ドアに挟んだり、たばねたりしないでください。  
（コードの破損や加熱により、感電や火災の原因になります。）
- 暖房便座・温水洗浄便座には水や小便、洗剤などをかけないでください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 暖房便座・温水洗浄便座が損傷した場合には、使用を中止し交換してください。  
（感電、漏電、火災の原因になります。）
- 凍結防止ヒーター（水中ヒーター）は、必ず水没した状態でご使用ください。  
（発火による火災の原因になります。）

# 安全上のご注意 注意 ご使用前に必ずお読みください！

## 注意

- この製品は簡易水洗便器で、汲み取り式です。水洗トイレではありませんので、公共下水道や浄化槽には接続できません。便槽が一杯になる前に、必ず汲み取りを行ってください。（便槽があふれる場合があります。）
- ティッシュ、新聞紙、紙おむつ、生理用品など、水に溶けない紙は流さないでください。（汚水管が詰まり汚物が流れなくなる場合があります。）
- ロータンクや便器に衝撃を与えないでください。また熱湯をそそがないでください。（衝撃で破損したり、金具類が外れて漏水の原因になります。）
- 製品にワレやカケが発生したときは交換してください。（ワレやカケた箇所に肌が触れると、ケガをする場合があります。）
- 便座便ぶたの上には乗らないでください。（破損や落下により、ケガの原因になる場合があります。）
- 洋式便器に腰かけた時は、便ぶたや水タンクによりかからないでください。（破損や落下により、ケガの原因になる場合があります。）
- 製品は改造して使用しないでください。（故障の原因になる場合があります。）
- 便皿部分は定期的に掃除してください。（尿石などが付着して、便皿開閉不良の原因になる場合があります。）
- 便器を洗剤で洗った後は、水でよく洗い流してください。（プラスチック部分がいたんで、使用できなくなる場合があります。）
- 便器を洗う洗剤は便座にかけないでください。（便座をいためる原因になる場合があります。）
- 掃除をされる場合、手袋などで手を保護して行ってください。（金属や便器に当たり、思わぬケガの原因になる場合があります。）
- 凍結の恐れのある場合には、水タンク及び便器内の水を必ず抜いてください。（凍結により、水タンクや便器が破損する原因になる場合があります。）
- レバーは水を流したら、すぐに放してください。（レバーを途中で止めると、水が多量に流れ、便槽が満杯になる場合があります。）
- 水タンクに芳香剤（ブルーレット等）などの薬品を使用しないでください。（部品をいため、水漏れの原因になる場合があります。）
- 長時間断水した場合、ゴミの少ない水を水タンクに入れて使用してください。（ゴミがノズルに詰まり、水が流れなくなる場合があります。）



# 安全上のご注意 注意 ご使用前に必ずお読みください！

## 注意

### 暖房便座付（品番H）、マルチシャワー付をご使用の方へのご注意

- 長い時間座り続けしないでください。特にひふの弱い方はご注意ください。  
（座り続けると、低温ヤケドをする場合があります。）
- 暖房便座は便器からはずして、掃除をしてください。  
（便座の裏に小便がたまり、臭気や便座の破損の原因になる場合があります。）
- 長期間留守にする場合は電源プラグを抜いてください。  
（火災の原因になる場合があります。）
- マルチシャワーに付いている説明書を良くお読みのうえ正しくご使用ください。  
（感電、漏電、火災の原因になる場合があります。）

### 凍結防止ヒーター付（品番F）をご使用の型へのご注意

- 長期間留守にする場合は、電源プラグを抜き、水タンク内の水を抜いてください。  
（火災や陶器破損の原因になる場合があります。）
- 水タンク内を掃除する場合は、電源プラグを抜いてから行ってください。  
（感電する恐れがあります。）

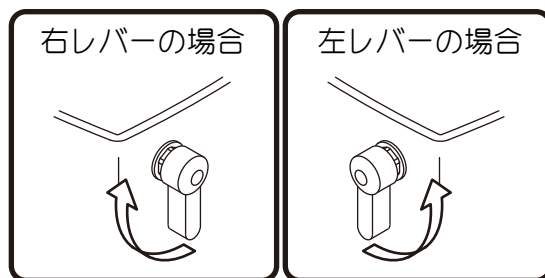
### 洗淨ノズル付（品番NまたはN2）をご使用の方へのご注意

- 洗淨ノズルご使用後は、必ずバルブを閉めホース内の水を抜いてください。  
（閉め忘れると、室内や他の家具を濡らす場合があります。）
- ホースは折り曲げたり傷付けたりしないでください。  
（ホースが破損し、室内や他の家具を濡らす場合があります。）

# ご使用にあたって

## ご使用方法

- ご使用后、レバーを矢印の方向へ回してすぐに放してください。レバーを途中で止めないでください。  
⚠ 便槽がすぐにいっぱいになります。
- ご使用の紙は水に溶けやすい物をお使いください。  
⚠ ティッシュ、新聞紙、雑誌、紙おむつ、生理用品は流さないでください。
- プラスチックを使用している部分がありますので、タバコを投げ捨てないでください。
- 少量の水しか使いませんので、ご使用済みの紙はできるだけ丸めて、便器排便口に落としてください。



## ⚠ ご注意

- この製品は簡易水洗便器で、汲み取り式です。水洗トイレではありませんので、公共下水道や浄化槽には接続できません。  
寒冷地などの特定地域を除いて、通常の場合一ヶ月に一回汲み取りを行ってください。

## お手入れ方法

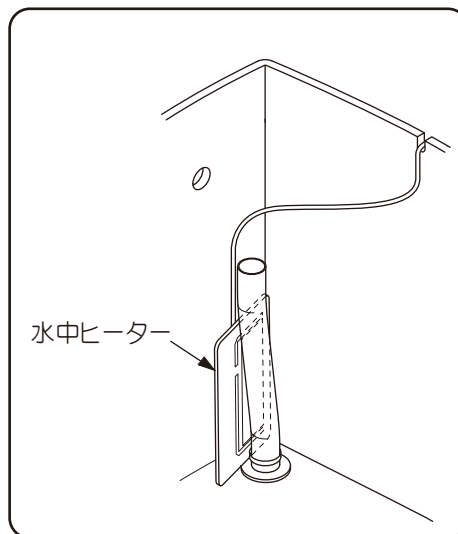
- 便器を洗剤で洗った後は、水で良く洗い流してください。
- 便器を洗う洗剤や薬品を便座にかけないでください。
- 便座、便ぶたを掃除する時は、やわらかい布やスポンジで水拭きし、洗剤は使用しないでください。
- 便皿部分は、定期的に掃除してください。尿石などで汚れがひどい時は、薬品（サンポール等）で洗い、その後水でよく薬品を洗い流してください。
- 暖房便座を便器から取りはずして、掃除をしてください。
- 掃除される場合は、手袋などで手を保護してください。



# ご使用にあたって【防寒対策】

## 凍結防止ヒーター付をご使用の方へ

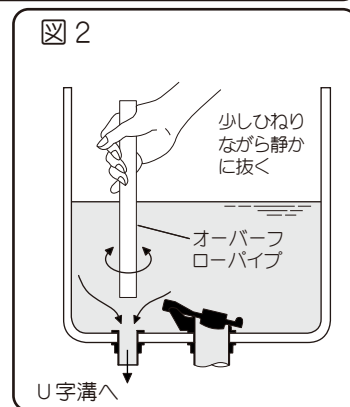
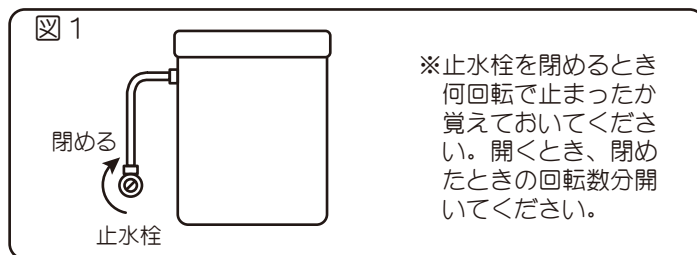
- 防寒ヒーター(水中ヒーター・管ヒーター)をご使用の場合は、寒冷の時期には電源を入れたままにしておき、暖かくなったら電源を抜いてください。
- このヒーターは $-5^{\circ}\text{C}$ まで耐えられます。 $-5^{\circ}\text{C}$ 以下になるような場合は、下記の水抜きによる凍結対策を行ってください。
- 長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。凍結時期の場合は、下記の水抜きによる凍結対策を行ってください。



## 凍結防止対策 …… (凍結すると器具が破損しますので、必ず器具内の水を抜いてください。)

- 防寒ヒーターがなくて凍結のおそれのある場合、長期間使用しない場合は、次の方法で水タンクの水抜きをしてください。

- ①止水栓を止めます。(図1)
- ②タンク内のオーバーフローパイプを少しひねりながら引き抜きます。(図2)
- ③これにより、水はオーバーフロー受を通り、U字溝の方へ流れていきます。なお、水タンクが空になってから、2~3回レバーをひねってください。
- ④水抜きが終わったら、オーバーフローパイプを受けに垂直に注意して差し込んでください。



# こんなときは

状 態	原 因	処 理 方 法
1. レバーを回しても水が出ない。	①タンク内に水が無い。 ②止水バルブのクサリが外れている。	➡ 止水栓を開ける。 ➡ クサリを正しく取り付ける。
2. 洗淨水が止まらない。	①バルブ受けにゴミが詰まっている。 ②バルブ受け及び止水バルブに傷がついている。 ③クサリがからみ止水バルブが浮いている。	➡ 止水栓を閉め、ゴミを取り除く。 ➡ バルブ受け及び止水バルブを交換する。 ➡ クサリを正しく取り付ける。
3. 洗淨水が便器外に飛び出す。	①ノズルにゴミが詰まっている。 ②ノズルの向きが正しくない。	➡ ノズルを外し、洗淨する。 ➡ 水平に取り付ける。
4. 便皿に水がたまらない。	①便皿周辺部に紙や汚物が付着して、水がたまらない。 ②便皿表面に尿石が付着している。	➡ 便皿周辺部を棒タワシなどで掃除する。 ➡ 尿石落としを使って掃除する。
5. 便皿が開かない。	①便槽が満杯でガス圧が強く、便皿を押し上げている。 ②排便管が詰まり、汚物が便皿の開きを妨げている。	➡ 汲み取りを行う。 ➡ 水を流しながら、詰まっている汚物を棒などで押し流す。
6. 床に水がもれる。	①水タンクの破損。 ②便器本体から水がにじむ。 ③便器本体の破損又は、ロト取り付け不良による。	➡ タンクを交換する。 ➡ ナットの増し締めか、部品を交換する。 ➡ 便器本体を交換する。 ※工事店又は、メーカーにご相談ください。 (6の②③)
7. 臭気もれる。	①便皿に水がたまらない。 ②シーリングパッキングがずれている。	➡ 上記4.を参照。 ➡ 床フランジを外し、シーリングパッキングを取付直す。
8. ウジ及びハエが出る。		➡ 便槽にウジ殺しなどの薬品を投入する。